



谷山ふるさとコミュニティ協議会

2025

TANIYAMA (たにやま) ミーティング

成果報告書

谷山おもしろプロジェクト提案会
～ 若者の視点で
未来の谷山をデザインしよう ～

開催日時：令和8年1月16日（金） 9:30～12:00

会 場：谷山校区公民館（谷山小学校内）

主 催：谷山ふるさとコミュニティ協議会

協 力：鹿児島国際大学 内山ゼミ

CONTENTS

01	開催目的	1
02	LOVEの法則（共通ルール）	1
03	プログラム概要	2
04	谷山の魅力再発見	3
05	アイデアソン	3
06	3票投票	3
07	谷山マップから企画へのつながり	4
08	企画立案	4
09	実現を目指す4つの重点プロジェクト	5
10	総括と成果	14
11	未来へのアクション	15
12	photo gallery	16
13	運営・参考資料等	別添

01 開催目的

鹿児島国際大学内山ゼミ（国際文化学科 内山仁准教授教育フィールドワーク基礎論）の学生を対象に、彼らの持つ新鮮な視点や独自のアイデアを引き出し、谷山のまちづくりへの参画を促すとともに、谷山をさらに楽しく、活性化させるきっかけづくりとすることを目的として開催。

一般社団法人テンラボの山本美帆ディレクターから、本ミーティングの3つの目的が共有されました。

- ・ 谷山の魅力を若者目線、学生目線で再発見する
- ・ 実現可能なプロジェクトのアイデア出しをして具体化まで進める
- ・ 学生と地域住民（谷山ふるコミ）が交流・意見交換を行う

谷山の魅力を
若者目線で
再発見！

目的①：魅力再発見

実現可能な
プロジェクトアイデア
発掘と具体化

目的②：アイデア発掘・具体化

学生と地域住民
交流  

目的③：学生と地域の交流

02 LOVEの法則（共通ルール）



一般社団法人テンラボ
山本美帆ディレクター

LOVEの法則・ルール

L(listen)

まず相手の話を聞く

ひとりの人がずっと話をするがないように

O (open)

心をオープンにして会に参加しましょう

V (voice)

しっかり発言。黙って過ごすがないように

E (enjoy)

何かしなければならぬというゴールはありません

こんなことできたら楽しそうというアイデアをいっぱい

出して欲しい

03 プログラム概要

(1) 導入（約20分）

- 自己紹介
- 谷山の魅力再発見
 - ・「谷山マップ」を囲みながら、地図上の情報に自身の経験や直感を重ね合わせ、学生ならではの視点から導き出した「谷山の魅力」とその理由を簡単に共有

(2) アイデアソン（約40分）

- テーマ設定
 - ・自由なテーマ設定を基本としつつ、検討の補助となるキーワード等を提示し、独自の切り口でテーマを設定
- 自由な発想でアイデア出し
 - ・実現可能性にとらわれず思いつく限りのプロジェクト案を出し合い、若者の視点で未来の谷山をデザインするアイデアを創出

(3) 企画立案（約60分）

- アイデアの絞り込みと具体化
 - ・創出されたアイデアに対し、学生と谷山ふるコミメンバーによる投票を実施し、多くの支持を集めたアイデアを具体的なプロジェクトとして深掘りする
- プロジェクトの概要をまとめる
 - ・プロジェクト名、目的・ターゲット、具体的な内容、必要なもの（協力者、資材等）、期待できる効果

(4) 発表会（約30分）

- グループ発表
- 質疑応答、フィードバック
- 総括

04 谷山の魅力再発見

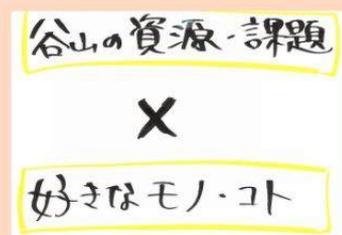
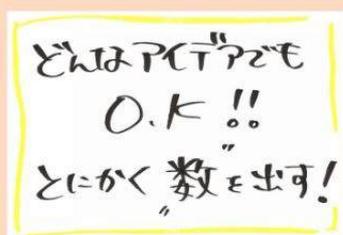
「谷山マップ」の情報を手がかりに日々の実感を重ね合わせ、地図には表れない風景や実体験を言語化した「谷山への想い」を共有することで、多角的な視点から谷山の魅力を再発見することができました。

主な気づき：「子どもが多い」、「学校が多い」、「まつりが盛ん」、「まちづくりが盛ん」など



05 アイデアソン

「どんなアイデアでもOK!ととにかく数を出す」という姿勢のもと、自由な発想でアイデア出しを行いました。結果、17件の多様なアイデアが創出されました。



06 3票投票

創出された17件のアイデアに対し、学生（緑シール）と谷山ふるこメンバー（青シール）による投票を実施しました。「実現可能性」という客観的視点と、「やってみよう」という主観的な熱量の双方を評価基準とし、多くの支持を集めたアイデアを最終候補として選定しました。



07 谷山マップから企画へのつながり

本ミーティングでは、自由な発想を大切にしつつも、常に地域の現状や事実に基づいた企画立案プロセスを重視し、実効性の高い議論を展開しました。



【谷山マップ】 地域資源の確認
(駅・学校・公園・施設の位置と特徴)

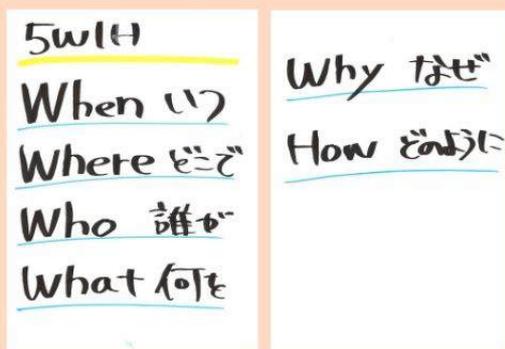


【意見】 学生の気づき
(子どもが多い・学校が多い・まつりが盛ん・まちづくりが盛ん・・・など)

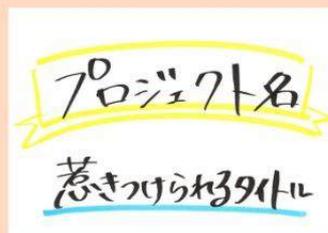


【肉付け】 企画への反映
(実施場所・対象・内容・必要物品・期待効果へ具体化)

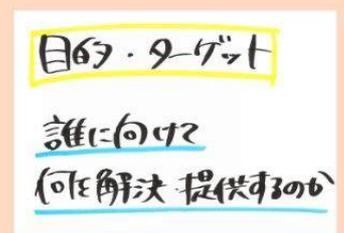
08 企画立案



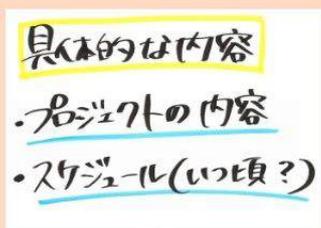
5W1H



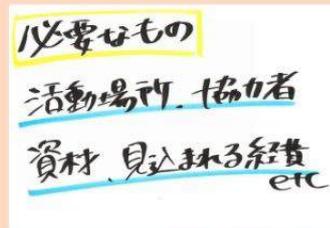
プロジェクト名



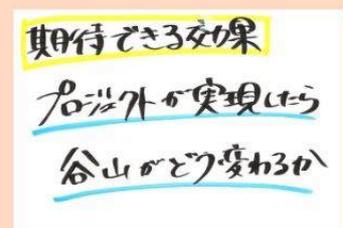
目的・ターゲット



内容・スケジュール



必要なもの



期待できる効果

09 実現を目指す 4つの重点プロジェクト

神出鬼没の谷山道楽

食べて、歩いて、見て、また来たくなる谷山

谷山にあるカフェや
飲食店も

食べ歩き
フェア

第一中央公園
屋台



神出鬼没の谷山道楽

目的・ターゲット

- ・地域に人を集める
- ・谷山の宣伝
- ・駅への回遊性

必要なもの

- ・高架下
- ・ふるこみ、地域内外整備
- ・小中学校テント
- ・コン・ゴミ箱

プロジェクト内容

- ・食べ歩き
- ・夜の飲み歩き
- ・情報高校協力ライブ期待
- ・小中高生の出店
- ・フリーマーケット
(ズオク、スタンプラリー、
etc...)

- ・使用許可書
- ・約20万

スケジュール

(春休み、GW)

- ・駅利便性
- ・谷山の魅力発信
- ・地域のお店の集客
- ・情報高校やその他高校宣伝
- ・遊びに来れる

Why

地域集客、谷山PR、駅周辺の回遊増加

Who

家族連れ、若者、友人同士、地域内外の来訪者

What・How

食べ歩き、夜飲み歩き、高校ライブコラボ、学生出店、フリマ、スタンプリナー

When

春休み・ゴールデンウィーク

Where

高架下（拠点）+ 駅周辺ルート

必要物

テント、コーン、ごみ箱、許可書、予算上限20万円

効果

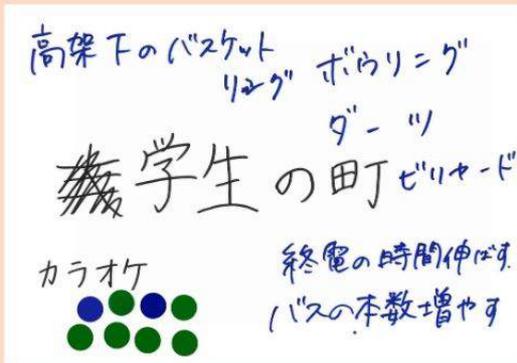
駅周辺の回遊増加、飲食店売上向上、学校の露出、新たな来訪動機

次の一歩

高架下利用条件確認、出店ルール作成

学生をつかんで離さないまち谷山

若者の日常が根付くまちづくり～日常が活気に満ちる



①ターゲット … 小・中・高・大学生

②具体的な内容 … レンタサイクル(谷山めぐり)

- 国際大 ↔ 谷山駅をつなぐバス
- 谷山のホテルを学生特価に!! (宿泊まり)
- カラオケ店の設置 ◦ バスケットの設置(高架下)

学生をつかんで

◇ 離さないまち 谷山

～若者の日常が根付くまちづくり～

①必要なもの … 学生の声を集める意見箱

②活動場所 … 谷山駅周辺、空き店舗、高架下

★効果：谷山に活気が出る、学生が谷山から離れなくなる。

Why

学生が谷山に留まる理由を増やし、日常の活気を作る

Who

小学生～大学生

What

レンタサイクル、大学～谷山駅シャトルバス、学生特価宿泊、カラオケ、高架下バスケ

Where

駅周辺、空き店舗、高架下

How

イベントではなく仕組み（場所+交通+居場所）、意見箱設置

効果

まちの活気、学生その他地域への流出抑制

次の一歩

学生アンケート設計、空き店舗状況確認、シャトルバス現状把握

プロジェクト
3

つくて さわいで 子どもフェス in 谷山

つくる×音楽×体験=子どもが主役の一日

歌のおにいさん
おねえさん
子どもたち向けライブ"
サザンホール? が子(小中)
サザンホール.
ヒーローショー?
(大学生出演!?) ●●●●



つく。てさわいで 子供フェス
in 谷山

- ① 谷山にくる子供たちに表現と創造の楽しさを!
(0才~20才程度)
- ② 谷山小で科学的な体験や、様々な制作イベント
サザンホールで が子ライブや演奏によるフェスを
同時に開催
- ③ 大学生、コミュニティー、高校生
- ④ 一体感を得ること
子供じょうしのコミュニティーが広がる

Why

谷山を訪れる子どもたちに表現と創造の楽しさを届ける

Who

0～20歳

What

谷山小で科学体験・制作イベント、サザンホールでライブ／演奏

運営

大学生、谷山ふるコミメンバー、高校生

効果

一体感の醸成、子ども同士のコミュニティ拡大

次の一歩

体験メニュー5～10個決定、2会場同時開催の実施可否確認

谷山の中心で思いを叫ぼう！！

言いたいことが言える、場所を選ばず大きな声が出せる一日

- ・パウスポーツ大会 ★
(谷山小で開催)
- ・大声大会! ? ●●●●●●
- ・紙飛行機大会! ?



○○○

谷山の中心で 思い を叫ぼう!!

- 目的: 日頃のうっぷんを発散できる。言いたい事が言える。
場所を選ばず、騒げる。言葉にする大切さ!!!
- ターゲット: 子ども～大人! 誰でも参加OK タタ
- 内容: (子ども)の主張部門 / 大声部門 トキ
(大人)の主張部門 / 大声部門 トキ
- スケジュール: 土日の昼 (晴れ SUNNY)
- 場所: 学校の校庭
- 必要なもの: 声量メーター・大声審査員 / 賞状・景品 タタ
- 期待の効果: すっきりする! 元気になる! 伝わる勇気の獲得 タタ

- (賞)
- ・からわざおにぎ賞
 - ・べに響いたび賞
 - ・かわいからたび賞
 - ・お声が大きかったび賞
 - ・なりきたび賞

Why

日頃のモヤモヤを声に出す、発言する体験

Who

全年齢

What・How

主張部門や大声部門、ユニークな表彰（面白い、心に響く等）

Where

週末昼間、校庭

必要物

すっきり感、元気、発言する勇気

効果

まちの活気、学生その他地域への流出抑制

次の一歩

音量・時間ルールと安全動線設定、審査基準確定

10 総括と成果

鹿児島国際大学内山ゼミの学生14名と谷山ふるコミメンバーによるワークショップでは、学生の主体性を最大限に尊重し、メンバーは一方的な提案を控え、対話を通じて学生の考えを引き出す役割に徹しました。その過程では、私たちにとっても多くの気づきがあり、経験を重ねる中で実現可能性や結果を先に考えてしまいがちな私たちにとって、若者らしい柔軟な発想は驚きの連続で、地域への新しい視点を得る貴重な機会となりました。

1. 成果

創出された17件のアイデアは、最終的に実現可能性と情熱を兼ね備えた4つのプロジェクト企画として具体化されました。

2. 学び

谷山マップを用いたフィールドワーク的視点により、地域資源を若者目線で再発見することができました。また、対話を通じてアイデアを「企画」へと昇華させるプロセスを共有できたことは、学生・地域双方にとって大きな学びとなりました。

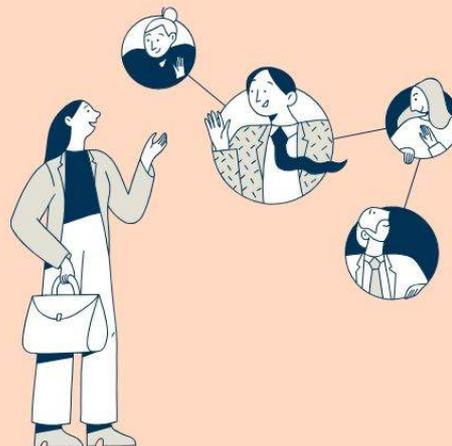
11 未来へのアクション

1. 今後の展開とフォローアップ

- ・提案されたプロジェクトの実現に向け、谷山ふるコミとして具体的な検討を開始するなど、一過性のイベントに終わらせない継続的なフォローアップ体制を構築します。
- ・その第一弾として、来年度開催予定の「谷山マルシェ2026」において『プロジェクト4：谷山の中心で思いを叫ぼう！！』を実施する予定。

2. 次期コミュニティプラン策定への参画

ゼミ生全員に次期コミュニティプラン策定のプロセスに深く関わってもらおう予定です。若者の視点と地域の想いを融合させ、持続可能な地域の未来図を共に描き出していきます。



12

photo gallery





谷山ふるさとコミュニティプラン

2nd Stage

2022 - 2026



谷山ふるさとコミュニティ協議会

会話の場づくり

TANIYAMA(たにやま) ミーティング



昨日までの常識が、明日からは非常識に変わっていると
もいわれるようなこの時代。今、必要なのは、「正解」
よりも、一人ひとりの「理想」。ここは、一人ひとりが
理想の実現に向けた一歩を踏み出す場所。所属も年齢も
性別も、あらゆる垣根を越えて、理想を語り合う場所。
ルールはたった一つ、応援し合うこと。多様な価値観を
持つ方々が、気軽に参加できるような、テーマ別のワー
クショップや交流会を開催するなど、「会話の場」をつ
くります。

発行：谷山ふるさとコミュニティ協議会
編集：総務企画部会

